

# 島根県におけるイノシシの生息実態調査 (Ⅳ)

— 第三期(2012~2016年度)の「特定鳥獣管理計画」のモニタリング —

小宮 将大・菅野 泰弘・金森 弘樹・澤田 誠吾

## 研究の要旨

島根県での第三期(2012~2016年度)の特定鳥獣管理計画におけるイノシシの捕獲数は、11,000~20,000頭/年で推移した。狩猟による合計捕獲数は第二期と第三期は同程度であったが、個体数調整捕獲による捕獲数は第二期の36,000頭から第三期の48,000頭へ増加した。2012年以降は銃猟による捕獲は減少して、箱わな猟の割合が増加した。また、狩猟期間が1ヵ月間延長されたことによって、捕獲数は1.2~1.3倍に増加した。出猟記録によるくりわなのCPUEの変動から、生息数はほぼ横ばい傾向で推移したと考えられた。飯南町における捕獲個体は0~6歳で、捕獲方法によって年齢構成に違いを認めた。島根半島では、捕獲場所は全域に拡がっており、急激な生息数の増加が伺えた。広域防護柵は定期的な維持管理を行っていない場合も多く、雑草の繁茂や倒木などによる柵の破損を認めた。また、柵の維持管理を行っていた場合でも、山林内や急峻地に設置した場合に破損が増加した。

## 関連図表

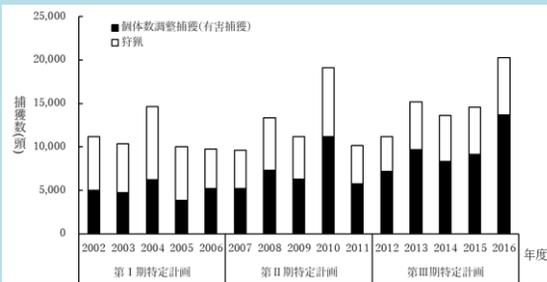


図1 島根県におけるイノシシ捕獲数の推移

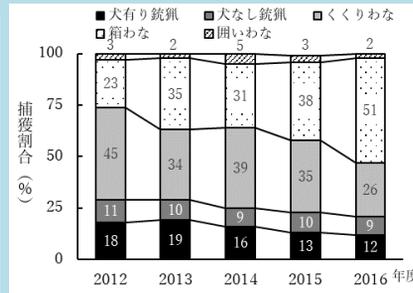


図3 捕獲方法別の捕獲割合

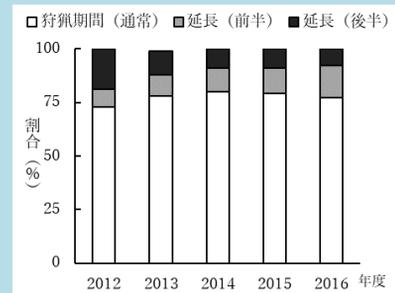


図4 狩猟期間(通常)と延長期間の捕獲数割合

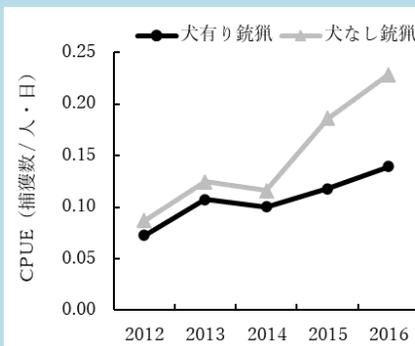


図5 狩猟のCPUE(単位努力量あたりの捕獲数)の推移

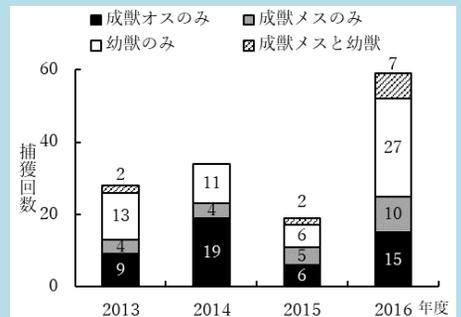
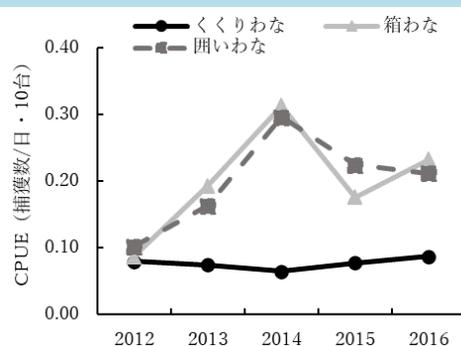


図14 箱わな・囲いわなにおける成・幼獣別の捕獲回数

## 語句説明

**特定鳥獣管理計画**：「鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律」に基づき、都道府県知事等が定める計画で、その生息数が著しく増加したり、生息地の範囲が拡大している鳥獣に対して、特に必要がある場合に策定する計画。

**個体数調整捕獲**：「特定鳥獣管理計画」に基づき、都道府県知事等がその権限により行う許可捕獲の一つ。

**CPUE**：わなであれば10(または100)基1日あたり、銃猟であれば1人1日あたり、対象鳥獣を何頭捕獲したのかを示した数字で、生息動向(増減)を図る指標の一つ。



MOUNTAINOUS REGION RESEARCH CENTER  
島根県 中山間地域研究センター

〒690-3405 島根県飯石郡飯南町上来島1207

担当科 : 鳥獣対策科  
問い合わせ先 : 0854(76)3818  
E-mail : chusankan@pref.shimane.lg.jp